

事務局だより **第2号**

2006年 5月
農業協同組合研究会 事務局

南は夏。北は春真っ盛りの爽やかな季節になりました。

4月14日の第2回総会・シンポジウムから1ヶ月。

お待たせの 事務局だより2号です。

<目 次>

＝巻頭言＝ “研究会記録によせて” 会長 梶井 功	・・・2ページ
第2回 総会	・・・3ページ
農業協同組合研究会研究記録 第1号	・・・12ページ
第3回シンポジウム 「農協改革の課題と第24回JA全国大会への期待」	・・・13ページ
会員名簿と会費納入のお願い	・・・14ページ

＝巻頭言＝

「研究会記録」に寄せて

農業協同組合研究会

会 長 梶井 功

“協同組合は、組合員が相互扶助の精神のもとに自ら主体的に協同活動に参加し、民主的に運営されるのでなければ、その発展を期することはできない。”

これは、もう30年前のことになるが、1976年に出された全中教育審議会答申「農協教育の基本的課題」の書き出しのところにある文章である。

JA改革の必要性、重要性が、JAの内部からも、そして行政も含め外からも、いま声高にいわれており、さまざまな取り組みが単協レベルでも連合会レベルでも見られる。

真摯なその取り組みには敬意を表するものだが、その取り組みは概していえばJAの経営体としての強化を意識しての効率性追及に傾斜している嫌いがある。

“組合員が相互扶助の精神のもとに自ら主体的に協同活動に参画”していけるようにするために、どうすべきなのか。そのために今の取り組みに何が欠けているのか。何が改革を必要とさせているのかを究明しながら、問題解決の道筋を見つけることに研究会は努力していく。会員諸氏の積極的な参加を望む。

この研究会記録にも、会員諸氏の御意見、御叱正をお願いしたい。

=第2回総会 =

日 時： 2006年 4月15日 (土) 13時から
場 所： 東京大学 弥生講堂

研究会第2回総会を、4月15日東京大学弥生講堂で開催しました。

出席会員66名。

13時から開始。

梶井議長の下で

- (1) 第1年度の事業報告および収支決算について
- (2) 第2年度の事業計画および収支予算について
- (3) 個人情報の管理と会員名簿の作成について

の3議題を審議し、すべて異議なく承認されました。

13時30分終了。

議題は次のとおりです。

第1議題

第1年度の事業報告および収支決算について（案）

第1 事業報告

1. 設立総会

当研究会は、2005年4月5日東京大学弥生講堂で設立総会を行い発足しました。2006年3月末日現在の会員は、正会員224名、賛助会員4団体となっています。

2. シンポジウム

シンポジウムは2回開催しました。

(1) 第1回設立記念シンポジウム（参加者約250名）

日 時： 2005年4月5日 午後2時～5時

場 所： 東京大学 弥生講堂

テーマ： 「新基本計画と農協活動の課題」

報告者：

報告1 「基本計画のめざすもの」

八木 宏典 東京大学大学院教授

報告2 「基本計画 ここが問題」

田代 洋一 横浜国立大学大学院教授

報告3 「現場からの声」

阿部 長壽 JAみやぎ登米代組合長

司 会： 梶井 功 前東京農工大学学長

(2) 第2回シンポジウム（参加者約150名）

日 時： 2005年11月12日 午後2時～5時

場 所： 日本橋 公会堂

テーマ： 「農協批判の本質を探る 農協改革・発展の課題」

基調報告：「農協批判の浦にある『強きを助け、弱きを挫く』思想」

梶井 功 東京農工大学名誉教授

報告者：

報告1 「生協から見た農協への提言」

河野 栄次 生活クラブ生協連会長

報告 2 「勝ち組だけでは地域農業は維持できない」

野澤 博 茨城県 農家

報告 3 「完全自由化に抗する農協運動の理念の復活を」

阿部 長壽 JA みやぎ登米組合長

3. 課題別研究会

課題別研究会は3回開催しました。

(1) 第1回 研究会(2005年9月3日)

テーマ： 「現代農協批判論の意図するもの」

報告者： 北出俊昭 前明治大学教授

研究会の冒頭 塚田和夫 前 JA 全中常務から「農協研究会に期待する」と題してご挨拶をいただきました。

(2) 第2回 研究会(2005年12月16日)

テーマ 「新生全農米穀事業改革について」

報告者 米本 博一 JA 全農常務

(3) 第3回 研究会(2006年3月11日)

テーマ： 「コメ・流通の変化にどのように対応するか」

報告者： 木村 良 木徳神糧(株)社長

4. 理事会(協議事項)

(1) 第1回理事会(2005年4月5日)

- ① 会長および事務局長の選出

(2) 第2回理事会(2005年5月14日)

- ① 会計処理等について
- ② 今後の研究会活動と第2回シンポジウムのテーマについて

(3) 第3回 理事会(2005年9月3日)

- ① 今後の研究会活動と第2回シンポジウムのテーマについて
- ② 常任理事会の設置について

- ③ ホームページの立ち上げについて

(4) 第4回 理事会 (2005年11月12日)

- ① 課題別研究会について (案)
- ② 第3回シンポジウムのテーマ等について (案)
- ③ ホームページの構成等について (案)

(5) 第5回 理事会 (2006年3月11日)

- ① 第2回総会の開催について
- ② 第2回総会の議案について
- ③ 第3回シンポジウムについて

5. 常任理事会

第1回	常任理事会	2005年	9月21日
第2回	常任理事会	2005年	11月8日
第3回	常任理事会	2006年	1月23日
第4回	常任理事会	2006年	2月17日

6. ホームページの立ち上げ (2005年12月14日)

JAcorn 農業協同組合新聞のホームページに「間借り」して、研究会のホームページを立ち上げました。

『農業協同組合研究会のページを全面的に新しくしました。意匠を新しくしただけでなく、内容も大幅に刷新しました。

これまでのような事務的な報告に加えて、「談話室」を新しく作りました。研究の発展のためには、誰でも自由に参加（書き込み）して討論できる公開の場が必要と考えたからです。また、各ページに「ご意見はこちら」というボタンを作って、読者の意見をメールで送ってもらうようにしました。

この研究会は、農村での協同組合運動を研究対象にしていますが、このページは、それを広範にかつ根源的に研究するために、農村で実際に起こっている社会問題を、広い視野で取り上げるページにしたいと考えています。また、現行の制度や政策にとらわれない自由な討論のページにしたいと思っています。そしてさらに、それを解決するために、いまだのような協同組合運動が必要か、という視点で討論していただきたいと考えています。

会員および会員外の皆さんの、自由で活発な発言（書き込み）を期待しています。
(研究会理事 森島 賢) (2005. 12. 14)』

第2 決 算

第1年度 決 算 書

(2005年3月～06年3月)

1. 貸借対照表

(単位 円)

資 産 の 部		負債および正味財産の部	
流動資産	200,039	流動負債	0
普通預金	200,039	正味財産	200,039
固定資産	0	会 費	200,039
資 産 合 計	200,039	負債および 正味財産合計	200,039

2. 収支計算書

(単位 円)

区 分 科 目		予 算	実 績	備 考
収 入	会 費	1,500,000	1,755,000	正会員 160 賛助会員 3
	収 入 合 計	1,500,000	1,755,000	
支 出	シンポジウム費	300,000	212,253	・ 事務費の内訳 資料印刷： 269千円 郵送料： 447千円 その他：24千円
	旅 費 交 通 費	600,000	497,840	
	会 議 費	100,000	86,568	
	調 査 研 究 費	200,000	18,720	
	事 務 費	300,000	739,580	
	支 出 合 計	1,500,000	1,554,961	
当 期 収 支 差 額		0	200,039	
次 期 繰 越 額		0	200,039	

第1年度収支の概要（口頭説明）

（1） 決算の期間（13ヶ月）

第1年度の決算は、設立準備のための期間の支出を含むため、2005年3月から06年3月までの13ヶ月である。

（2） 収 入 （1,755,000円）

06年3月末現在の会員数は、正会員224、賛助会員4の計228である。

会費収入は、正会員1,605千円（160会員）、賛助会員150千円（3会員）の1,755千円である。

（3） 支 出 （1,554,961円）

事務費（740千円）の内訳は、資料印刷＝269千円、郵送料＝447千円、その他＝24千円である。

また、旅費交通費は、理事会4回分で498千円であり、事務費と旅費交通費で支出総額の80%を占めている。

（4） 収支差額 （200,039円）

次期繰越金となるが、本年度に開設したホームページの作成料200千円が未払いであるため、実質的には収支均衡となった。

以 上

2006年4月3日

農業協同組合研究会
会 長 梶 井 功 殿

農業協同組合研究会
監 事 小林 綏枝 印

監 事 白幡 豊明 印

監 査 報 告

2005年3月から2006年3月までの、第1年度の決算書および
関係書類を監査した結果、それらは適正に処理され、正確であることを
認めます。

以 上

(注)
白幡監事から、上記の内容の監査報告を頂きました。

第2年度の事業計画および収支予算について（案）

第1 事業計画

1. シンポジウムの開催

（1）3回シンポジウム 2006年4月15日

テーマ「農協改革の課題と第24回JA全国大会への期待」

= JA全国大会の成功を願い、

議案内容の批判的検討と改善提案を行うシンポジウム =

（2）4回シンポジウム 2006年10月（予定）

「農協の大型合併は何を目指し、何をもたらしたのかを総括し、今後の課題を明らかにする」ためのシンポジウムとします。

2. 課題別研究会

（1）開催日程

課題別研究会は、6月、8月、12月、2月を目途に年4回開催する。
このうち8月は現地研究会とする。

（2）研究テーマ

次の事項の中から各回の研究テーマを設定する。取り上げの順序や運営方法など詳細は常任理事会で決定する。

- ① 集落営農の実態と農政改革
- ② 現地における米生産・流通の実態と販売事業
- ③ 信用・共済事業の競争力強化対策
- ④ 農協事業と子会社化の是非問題
- ⑤ 全農改革をどう考えるか
- ⑥ 組合員組織の再編成と活性化対策

3. 情報・意見交換の活性化

事務局だよりの定期的な発行、研究会後のアンケートの実施やホームページの活用などにより、会員間の情報・意見交換の活性化を目指します。

第2 収支予算

第2年度収支予算書 (2006年4月～07年3月)

(単位：千円)

科 目 \ 項 目		予 算	前年度予算	前年度実績
収 入	前年度繰越	200	0	0
	会 費	1,500	1,500	1,730
	収 入 計	1,700	1,500	1,730
支 出	シンポジウム費	200	300	200
	旅費・交通費	400	600	450
	会 議 費	100	100	80
	調査研究費	400	200	300
	事 務 費	600	300	700
	支 出 計	1,700	1,500	1,730
差 引 残 額		0	0	0

第2年度予算の概要（口頭説明）

- (1) 会費収入は前年予算と同額の150万円を見込んだ。
- (2) 各科目別の予算は前年実績を勘案して策定した。
- (3) 調査研究費400万円には、前年度未払いのホームページ作成費20万円をふくむ。

農業協同組合研究会

研究記録 第1号

農業協同組合研究会が第1年度（2005年4月から06年3月）に開催した、2回のシンポジウムと3回の課題別研究会の内容を「研究記録」にまとめました。

4月15日開催の第2回総会、シンポジウムにご参加の皆様、当日お配りしましたが、事務局の大失態発覚。

梶井会長の巻頭言「研究会記録によせて」を綴じこむことを忘れました。

ということで、「研究記録」の巻頭言をこの事務局だよりの巻頭言としても掲載させていただきました。

当日ご参加の皆様ならびに梶井会長に改めてお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。（事務局長 上 住 ）

「研究記録」はホームページに掲載されているものですので、ホームページ掲載の「事務局たより 2号」では、省略しています。

第3回シンポジウム

「農協改革の課題と

第24回 JA 全国大会への期待」

= JA 全国大会の成功を願い、議案内容の批判的検討と

改善提案を行うシンポジウム =

日 時： 2006年 4月15日（土） 13時30分～

場 所： 東京大学 弥生講堂

農業協同組合研究会（会長：梶井功東京農工大名誉教授）は4月15日、東京大学弥生講堂で第3回シンポジウム「農協改革の課題と第24回 JA 全国大会への期待」を開催した。

このシンポは JA 全国大会の成功を願い議案内容の批判的検討と改善提案を行うことが趣旨。

議案策定プロジェクトチームの JA 全中・比嘉政浩企画室長による大会議案素案の報告と小池恒男滋賀県立大教授の課題の指摘に続き、増田佳昭滋賀県立大助教授と先崎千尋 JA ひたちなか専務のコメントを皮切りに参加者も交えて熱心な討論が行われた。

JA、県中央会、全国連関係者と研究者約180人が集まった。

会員名簿

第2回総会で了承された会員名簿 できました。

名簿記載事項のご確認に対し、ほぼ半数にあたる103件のご回答がありました。

ご返事をいただけなかった会員の皆様については、そのお名前のみを記載しました。

お忘れになって、名簿に住所などが載っておらず、“残念だ”とお思いの会員の皆様も多数おられると思います。

決められたことでありますので、今年はお勘弁いただきますようお願い申し上げます。

また、「間違っているぞ！」の会員もおられるのではないかと心配しております。前もってお詫び申し上げます。

いずれも訂正は来年版で。来年はよろしく願いいたします。

＝会費の納入をお願い申し上げます＝

あわせて 本年度の研究会会費の納入をお願い申し上げます。
別添の振替用紙をご利用ください。

今年度の会費収入の予算が前年実績より減っているから、「今年は ま、いいか」などと「ご高配」頂くことの無いよう、心よりお願い申し上げます。

また、前年の会費の納入をお忘れの方は、「時効」はありませんので、2ヵ年分ご納入いただければ、まことに幸いです。

お手数ですが どうぞよろしく お願い申し上げます。

(総会時に納入いただき増した皆様、早速のご入金ありがとうございました。)

<農業協同組合研究会事務局>

〒102-0071

千代田区富士見1-7-5（農協協会 内）

電話 03-3261-0051（代）

fax 03-3261-9778

E-メール nokyoken@jacom.or.jp